

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月22日

計画の名称	18 都市計画道路における緊急輸送道路の無電柱化の推進												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福島県, 喜多方市												
計画の目標	都市計画道路において地震時の円滑な交通の確保に向けて、無電柱化を推進し安全・安心な道づくりを行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,734	A	1,734	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	無電柱化計画策定箇所における無電柱化率を76%(H29)から79%(H33)にする。 無電柱化計画策定箇所における無電柱化率 = 無電柱化整備延長 / 無電柱化計画策定延長	76%	%	79%
2	街路事業による児童生徒の通学路利用率を23%(H29)から30%(H33)にする。 街路事業による児童生徒の通学路利用率 = 通学路利用児童数 / 全校児童数	26%	%	30%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	福島県	直接	福島県	S街路	改築	18-A1 中央線ほか1線	現道拡幅 L=0.6km	伊達市						915	-	
		P16より移行																	
	A01-002	街路	一般	喜多方市	直接	喜多方市	S街路	改築	18-A2 坂井四ツ谷線(御清水東工区)	現道拡幅 L=0.2km	喜多方市						225	-	
		P16より移行																	
	A01-003	街路	一般	福島県	直接	福島県	S街路	改築	18-A3 白河駅白坂線(向新蔵)	現道拡幅 L=0.2km	白河市						594	-	
		P12より移行																	
												小計						1,734	
												合計						1,734	

交付金の執行状況
(P18)

(単位：百万円)

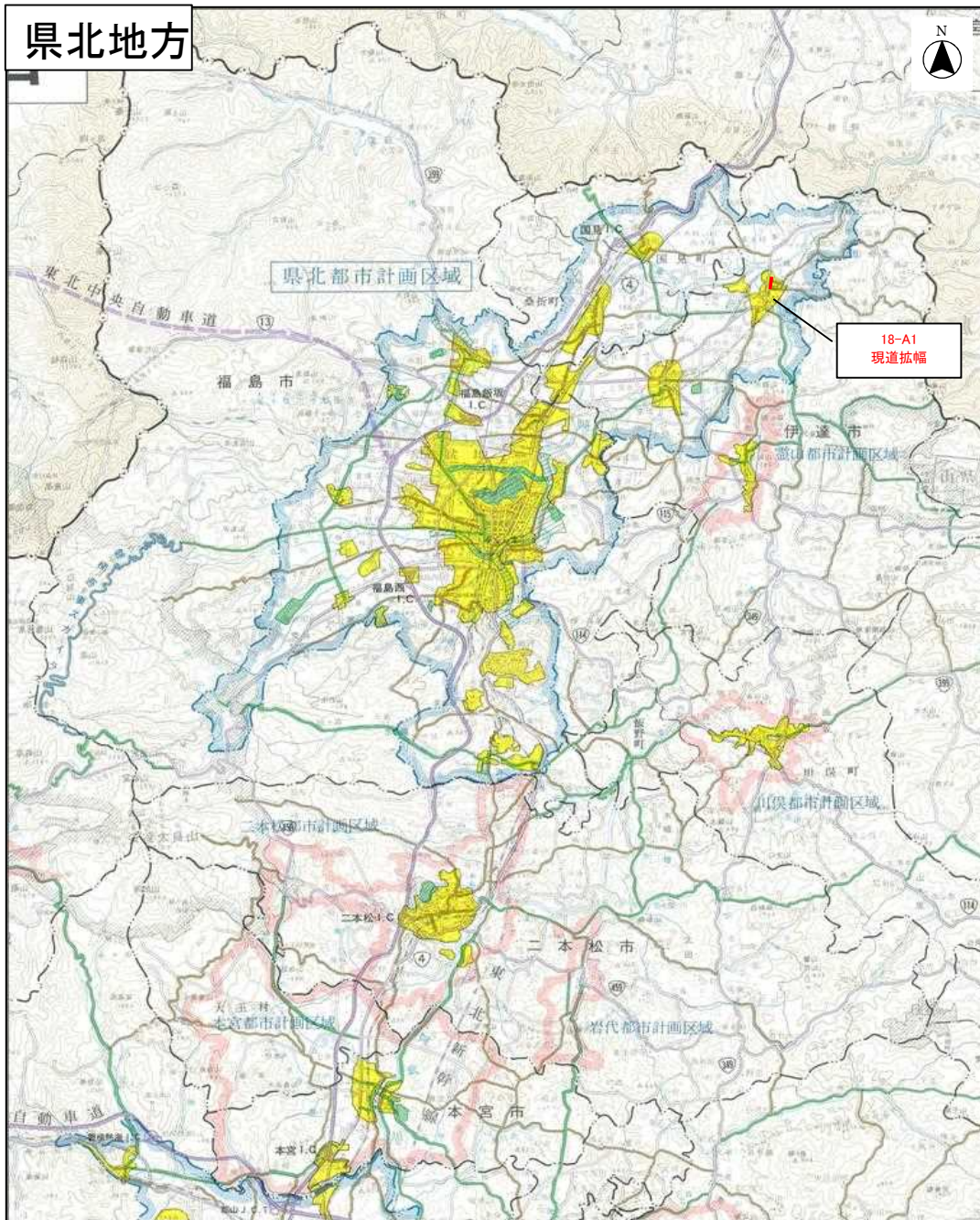
	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	86	180			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	86	180			
前年度からの繰越額 (d)	0	45			
支払済額 (e)	42	103			
翌年度繰越額 (f)	45	122			
うち未契約繰越額 (g)	23	89			
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率＋不用率 (i=(g+h)/(c+d))%	26.9%	39.8%			
未契約繰越率＋不用率が10%を 超えている場合その理由	うち19.1%はH29 国補正予算	用地交渉が難航 し契約できな かったため			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	都市計画道路における緊急輸送道路の無電柱化の推進		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	交付対象	福島県、喜多方市

【位置図】



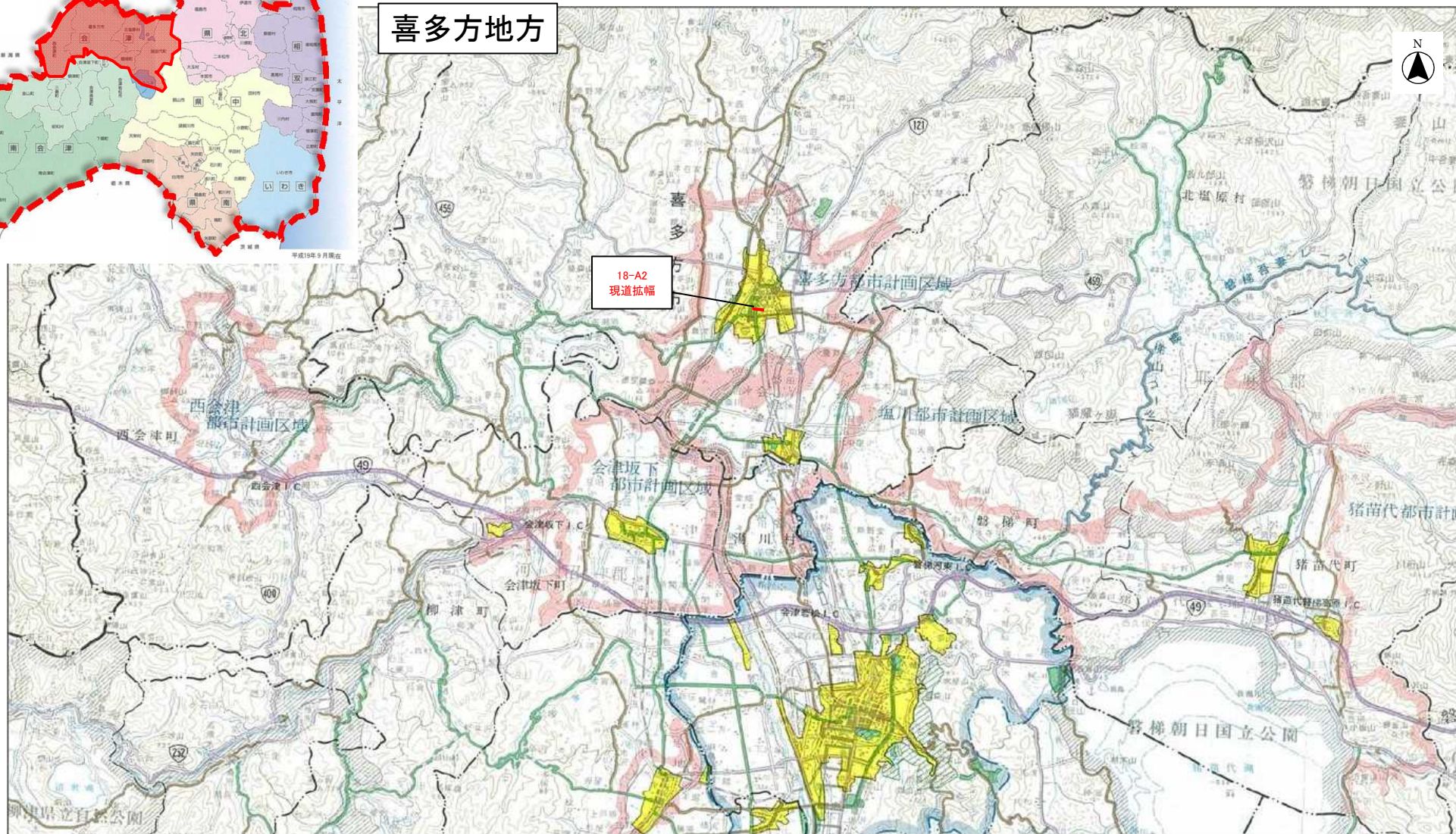
(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	都市計画道路における緊急輸送道路の無電柱化の推進		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	交付対象	福島県、喜多方市

【位置図】



喜多方地方



事前評価チェックシート

計画の名称： 18 都市計画道路における緊急輸送道路の無電柱化の推進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○